

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第390号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2019年9月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

ダンス部 全国大会 優勝!!

TOP*NEWS

軽音楽部 MUSIC DAYS東京大会 優秀賞受賞!

第51回 剛健旅行実施



笑顔で乗り切ります♪



広大なキャベツ畑の中を



いよいよゴールです!

第51回 剛健旅行

1,376名参加 完歩率89.2%

夏休み直前の恒例行事である剛健旅行が7月18日～19日に行われました。群馬県嬭恋村を舞台に、都心では味わえない大自然の中を歩いてきました。曇天から雨天へと変化する過酷な道中、友と助け合い、これまでの自己を振り返ることで、質実剛健の精神を養う良い機会となりました。また、後援会の方々による豚汁を口にすることで、身も心も温まる最高の経験を積むことができました。

結果発表

高校男子トップ 10 (36.0km)

順位	年	組	氏名	部活動
1位 (2時間59分)	3	7	鈴木 拓真	陸上競技
2位	2	9	及川 優汰	陸上競技
	3	6	小泉 陸	陸上競技
4位	3	1	池田 健人	サッカー
5位	1	7	安井 駿平	陸上競技
	2	8	漆原 陸也	陸上競技
7位	2	7	守屋 浩次	サッカー
8位	2	9	長内 颯	サッカー
9位	2	2	吉田 岳	サッカー
	2	5	中村 範惟	サッカー

中等部男子トップ 10 (19.0km)

順位	年	組	氏名	部活動
1位 (2時間5分)	2	A	中西 力也	サッカー
	3	B	斎藤 仁志	男子バスケットボール
3位	3	B	内田 皓	男子バスケットボール
4位	2	A	木村 陸斗	陸上競技
	2	B	木村 海斗	陸上競技
6位	3	B	鍛冶 宏樹	ソフトテニス
7位	3	B	篠田 圭佑	陸上競技
8位	2	A	石渡 寛崇	サッカー
	2	A	神田 哀梨	サッカー
	2	B	松脇 努和	陸上競技

高校女子トップ 10 (30.0km)

順位	年	組	氏名	部活動
1位 (3時間20分)	2	1	天野 葉月	陸上競技
	2	4	佐藤 らら	陸上競技
3位	1	8	山本 愛奈	陸上競技
4位	2	6	清宮 優希	女子バレーボール
	3	1	津吹 日菜	女子バレーボール
6位	2	4	横山 新	女子バレーボール
	3	7	城倉 葵	女子バレーボール
8位	2	7	宇都宮 萌	女子バレーボール
	2	8	大箭 咲空	女子バレーボール
	3	4	羽田 実春	女子バレーボール

中等部女子トップ 10 (19.0km)

順位	年	組	氏名	部活動
1位 (2時間42分)	2	A	関根 未莉	陸上競技
	2	B	鈴木 真帆	陸上競技
3位	2	A	大張 佳音	女子バスケットボール
4位	1	A	今井 夏海	陸上競技
	1	A	廣木あおい	陸上競技
6位	2	A	高橋 真凜	美術
7位	3	A	小泉 萌花	女子バスケットボール
8位	3	A	岩田 果歩	女子バスケットボール
	3	B	江頭 一華	女子バスケットボール
	3	B	鈴木 杏衣	女子バスケットボール

群馬県嬭恋村

Boys, be ambitious!
少年よ大志を抱け!

嬭恋村村長 熊川 栄



今年も「剛健旅行」大変お疲れ様でした。
“剛健”とは、心が強く心身が健康なことという意味で、まさに体はもちろんのこと精神力までも鍛える旅行であります。そのような大変有意義な意味を持つ旅行を、わが嬭恋村で開催していただいていることに、感謝申し上げます。
皆さんが歩いたコースの沿線には、嬭恋村が生産量日本一を誇る「夏秋キャベツ」の絨毯が広がっており、大変景色のいい場所ではありますが、坂道の多いきついコースでもあります。歩く人、走る人などさまざまなスタイルがありますが、ゴールという目標に向かい足を進めたこと、そしてゴールしたときの達成感は一生涯の思い出、一生涯の宝となったことと思います。
先輩の皆さんも、この剛健旅行の試練を乗り越えてきました。つらいことがありましたら、今回の剛健旅行のことを思い出し乗り越えてほしいと願っております。そして思い出の地、嬭恋村に足を運んでいただけたらと思います。
この伝統ある剛健旅行に、新たな思い出のページが加わり続けることをお祈りし、ご挨拶いたします。



高校男子 第1位

陸上競技として挑んだ剛健旅行

3年7組 鈴木 拓真

去年は、同じ陸上部の友達のおかげで学年優勝ができたのですが、今年はその友達が「最初から勝負をする」と言っていたので、私も今回の目標は、1位を取るとともに2年前のサッカー部の先輩の記録を抜くということを目指して剛健旅行に挑戦しました。
スタートして、4キロ過ぎに1台の車がゆっくり走っていて、なんでこんなにゆっくりなんだろうと少し疑問だったのですが、先導車だと気づきました。途中「ここ滑るよ、この溝は危ないよ」などと先導車の先生がアドバイスしてくださり、道に迷う心配もなく落ち着いて走ることができました。去年はラスト6キロの上りに差し掛かった所から限界を迎えて、陸上部の先輩に抜かれた所から歩いてしまいました。今年は先生のアドバイスもあり、先導して下さった先生に感謝しています。結果1位は取れましたが、サッカー部の先輩のタイムには全然かきませんでしたが、しかし3年間で最も悔いのないタイムでゴールできました。

高校女子 第1位

2人同時ゴールのため、連名で書いてくれました

剛健旅行を終えて

2年1組 天野 葉月 2年4組 佐藤 らら

今年の剛健旅行で私たちは、1位という成績を残すことができました。今年の剛健旅行は、天候が暑すぎず寒すぎずのちょうどよい気温だったので、途中雨が降りましたがとても走りやすかったです。残り8km辺りからは登り坂が多くて、つらい時がたくさんあったのですが、お互いの存在がとても大きく、声を掛け合いながら走りました。今回の結果は私たち2人だけでなく、いつも指導してくださっている先生方や、サポートしてくださる部活動の方々のおかげだと思っています。来年は最後の剛健旅行なので、今年以上に良い結果を残したいです。



左:佐藤さん、右:天野さん

中等部男子 第1位

3年斎藤君と2年中西君が同時ゴールのため、斎藤君に代表で書いてもらいました



左:斎藤君、右:中西君

自分への挑戦

3年B組 斎藤 仁志

今年の剛健旅行は、僕にとって中学生生活最後になるため、思い出に残る1日にしたいと思っていた。そこで、僕の目標は「力の限り走り抜こう」とした。
スタートの合図で自分への挑戦が始まった。僕はマラソンの経験はなく、ただがむしゃらになって走り続けた。あきらめないと決めたとつもりだったが、徐々に精神的にも体力的にも苦しいと感じてきた。そんなときに、中2の中西君の頑張っている姿を目にし、励まされた。共に完走し、そして、共に1位でゴールした。苦しさが一気に爽快に変わった瞬間を感じた。僕の目標は達成することができた。剛健旅行は自分への挑戦、そして自信につながることを確信できた。

中等部女子 第1位

2人同時ゴールのため、連名で書いてくれました

偶然の1位

2年A組 関根 未莉 2年B組 鈴木 真帆

今年の剛健旅行は、降雨の予報で、ちゃんと走ることができるか心配でした。スタートしてからしばらくの間、私たちは一緒に走らずにそれぞれのペースで走っていました。
ただ、お互い1位を取りたいという気持ちで強く持っていたので、抜きつ抜かれつを途中で何度も繰り返していました。
残り半分近くなると、最初とは違い上り坂が増えてきたり、雨が強くなってきました。そして、だんだん足も痛くなってきたときに2人で合流して一緒に走るようになりました。最後の1キロぐらいになって体力も消耗して、なかなか足が前に進まなかったけど、ゴールに向かい力を合わせて一生懸命走りました。
2年目ということもあり、道を知っていたので「まだまだ先が長いなあ」とつらくなった時がありました。でも、最後まであきらめずにゴールに進んでいけたのでよかったです。来年は中等部最後の剛健旅行なので、また1位を目指して頑張りたいです。



左:関根さん、右:鈴木さん

剛健旅行の様子



声掛け合って頑張るよ!

雨の中頑張りました!

おいしい豚汁で疲れも取れます!

第11回 中等部体育祭開催

6月21日に中等部体育祭が行われました。学年を超えて赤組・白組が団結し、応援・競技ともに白熱しました。

最後の体育祭

体育祭実行委員長 3年B組 森 柚結奈

私は体育祭実行委員長としてみんなが楽しめる体育祭にしようと思い、実行委員のみんなと協力して体育祭を盛り上げました。

私たちの学年にとって今回が最後の体育祭でした。雨の心配もありましたが、始まる直前に雨もやんで時間通りに始めることができました。グラウンドが校舎の近くになくということで、あまり本番に近い練習はできませんでしたが、みんなの協力もあり、問題なくスムーズに進行できました。

私の一番の印象はみんなの笑顔です。3年生は最後の体育祭ということもあってか、はじめのうちは少し緊張気味で顔に力が入っていました。しかし競技を行っていく中で、他の学年のみんなの応援もあり、だんだんみんなに笑顔が溢れてきました。それを見て、学年を超えた中等部のまとまりを感じることができました。

私たちは最後の体育祭で、3年生らしく後輩の見本になるように頑張ってきたつもりです。来年の体育祭は今年以上に盛り上がる体育祭になったらいいと思います。



行進賞☆3年A組



選手宣誓☆3年A組 芳賀一樹君



箱リレー(3年)



箱リレー(2年)

組体操(2・3年男子)



背渡りリレー(3年)



ダンス(2・3年)



ボール運びリレー(2年)



ダンス(1年)



台風目(1年)



部活動対抗リレー



全員リレー(1年)

全員リレー(2年)

全員リレー(3年)



おんぶ・二人三脚(3年)



二度目の応援団長

赤組応援団長 3年A組 山中 隼斗

空の雲を吹き飛ばすような熱気で、中等部最後の体育祭が行われた。今年の体育祭はいつもと違う思いがあった。それは応援団長になったことだ。人生で二度目の経験だったがとても緊張した。小学校の時とは違い、一から自分たちで作り上げなければならないのでとても苦労した。練習でも他の学年もまとめ上げなければいけないのでとても大変だった。前日練習も不安が残る結果となり、残すは本番だけとなった。

迎えた本番当日、心臓がバクバクして緊張した。応援合戦までは時間があり、クラスメイトの顔を見たら少し落ち着き、応援合戦までには気持ちを落ち着かせることができた。

そして応援合戦本番、多少の緊張があったが練習以上のいい結果を出すことができた。これは今まで練習を見てくれた古田先生と一緒に練習をしてくれた友達のおかげだと思う。

中学3年間で貴重な体験ができた。この経験を生かして今後の学校生活を過ごしていきたいと思う。



応援合戦【赤組】 力強い応援で盛り上げました!

晴れ舞台

白組応援団長 3年B組 内田 皓

「フレイ! フレイ! 白組!」—— 埼玉グラウンドの芝生に響いた。僕は白組応援団長になった。3週間前から3年生で応援合戦のダンスの練習を始めた。本気で難しいダンスをキレキレに踊るか、面白いダンスで笑いを取るかを考え、話し合った結果、面白いダンスに決まった。ダンスを踊っている時、わからないところをいろいろな人に教わり、周りの仲間の大切さを感じた。3年生がダンスを覚え終わり、全学年にダンスを教えに行った。1年生と2年生が3年生の話を素直に聞いてくれたおかげで、すぐにダンスを覚えてもらった。

本番では、最初は雨が降っていたが途中から晴天になり、天気が僕たちを応援してくれたので、応援もより一層気持ちが入り、最高のパフォーマンスを見せることができた。



応援合戦【白組】 楽しいダンスを披露しました!

協力することの大切さ

1年A組 青木 銀

体育祭は、全員が協力し合い初めて成り立つ種目がたくさんあります。僕が一番協力できたと思ったのは台風目です。台風目では一番大切なのは折り返すときです。素早く折り返すには3つのことが大切です。ロープの一番左にいる人は3人の中で一番速く走ること、真ん中にいる人は左の人のスピードを保つためしっかりフォローすること、一番右にいる人はその軸となって遠心力に耐えることです。この3つのバランスが良くなれば、素早く折り返すことができます。つまりチームの協力が大切になります。僕のクラスは、この台風目を通して協力ということを学ぶことができたと思います。入学当初は、お弁当の時間や帰りのホームルームなどがなかなか始まらなかったり、号令をかけてもすぐに起立ができなかったり、できないことがたくさんありました。しかし今ではそのようなことが少なくなってきました。小さなことかもしれませんが、僕たちはこの体育祭を通して変わることができました。これからもこのクラスで協力して、少しずつでも前に進んでいきたいです。

一生懸命という言葉に胸に

2年B組 柿原 奈々

朝は天気が怪しまれましたが、昼になるとさんさんと太陽が照り付ける中、体育祭を行うことができました。私はこの体育祭でも目標を決めていました。それは「何事にも一生懸命」ということです。どんなに苦しい競技でも、一生懸命という言葉に胸に組み込みました。そうしたら、女子の箱リレーでは、勝利をつかむことができました。

私がこの体育祭で心に残っている競技は二つあります。一つ目は女子全員で踊るダンスです。私は昔から運動音痴だったので、とても憂鬱でした。でも、友達がわかりやすく教えてくれたので、すぐに覚えることができました。

二つ目は応援です。どの学年でも関係なく応援しました。私がいかに応援したくなるようになったのは、1年前の体育祭がきっかけです。緊張して固まっている私たちを見て、先輩が背中を押してくれました。だから、私たちも1年生を柔らかい笑顔で応援してあげたいと思いました。

来年は最後の体育祭なので、勝ちたいです。そして悔いのない体育祭にしたいです。

学年だより 高1

スポーツ大会

高校第1学年のスポーツ大会が6月25日に行われました。熱気溢れる素晴らしい大会になりました。

1組 伊豆本 武蔵

一番印象に残った競技は、ホームルームリレーです。予選の前は、決勝に進出できるだろうかと不安でしたが、ダントツの1位で決勝に進みました。リレーメンバーと気持ちが一丸となり、予選以上の走りができました。残念ながら、結果は4位で入賞とはなりませんでしたが、結果以上に大事なものが手に入れられたと思います。また、スポーツ大会を通して、今まであまり話したことのない子とも、スポーツを通して仲を深めることができたので、より一層クラスが一つになったように感じました。

2組 神谷 優太

自分が参加したドッジボールでは、みんなと協力してたくさんのチームを倒すことができました。最後の試合では、相手チームのメンバーは強い人たちばかりでしたが、2組も負けていませんでした。ものすごく暑いくらい、みんな力の限り動いたのでかなり体力を消耗しましたが、やり遂げたという達成感で、とても楽しかったです。また、最後の競技のホームルームリレーでは、どのクラスも1位を取ることに必死で、声援の盛り上がりもあり、2組の団結力がとても感じられました。

3組 摩庭 紫乃

最も白熱していたと思う競技は、ホームルームリレーです。クラスが一致団結していた場面が2つあります。1つが本戦前のクラス全員での円陣です。みんなで声を出して、まとまることができました。もう1つはゴールをした時です。最後の走者がゴールテープに向けて直線に入った瞬間、クラスの人が一斉に走り出しました。皆はとても楽しそうで、とても楽しかったと思います。私も楽しく、楽しかったです。

4組 大嶋 哩梨花

私は、ドッジボールとリレーに出場しました。ドッジボールでは、担任の先生とみんなで作戦を考えながら競技を行いました。チームの協力と勝つための作戦を考えてくれた先生のおかげで優勝することができ、すごく嬉しかったです。また、リレーは、1回戦を勝ち抜いて決勝に進むことができ、結果は良い順位で終わりました。クラスメイトを自然と応援したり、喜び合ったりと、他の競技よりクラス全員で1つになり、思い出深い競技になりました。

5組 立川 正真

今回、グラウンド状況によりドッジボールとソフトボールに出場することになりました。どちらの競技も、クラスメイトと声を掛け合い団結することができました。勝つこと以上に、大切な形のない何かを得ることができたと思います。また、リレーは、自分が走順を決めたのでとても印象に残りました。結果は最下位でしたが、自分のアイデアでの最下位だったので、悔いはありませんでした。ただ、先生を含めての1年5組なので、先生がアドバイスをしてくれたことを聞き入れれば、本当の1年5組として戦えたと思う、後悔が残るスポーツ大会でもありました。でも、クラスの仲が深まったことは胸を張って言えることだと思うし、5組は最高です。

6組 高野 伊吹

今回のスポーツ大会で私はドッジボールに参加しました。一回戦目は逃げ回っていて、なかなか勝負がつかず延長戦に入り、クラスメイトの一球で勝利となりました。二回戦目は、対戦相手のクラスがいくら待っても来なかったため、待機時間にかなり体力を消耗してしまいました。「もう、当たって砕ける」と思い、勝負に挑みました。結果は他クラスと同率で3位でした。このスポーツ大会を通して、ソフトボールをやっていたクラスメイトがいたと知ることができたなど、同じクラスの人の新たな一面を発見できたいい機会でした。

7組 高柳 耀空

自分はドッチボールに出場しました。チームメイト全員で力を合わせた結果、優勝できたのは、とても良い思い出でした。試合が始まる前は、自分たちのチームが、1学年の中で優勝できるとは思っていなかったのですが、1位になったときは、とても嬉しかったです。次のスポーツ大会もみんなで団結して楽しみたいです。そして、学年全体で人文字を作ってみたいです。

8組 沖胡 葵

私は、フットサルとリレーに参加しました。フットサルでは、太陽が出ていて発散するには最高の天気で、気持ち良くサッカーをすることができました。互いに声を掛け合いながらシュートを決めたら、みんなで喜んで8組の団結も大いに深まったと思います。また、最初から盛り上がりだしていたリレーでは、みんなからの信頼が深まり、クラスがまとまっていたと思います。そんないい雰囲気でも走れたことを誇りに思います。今回、クラスみんなでスポーツをすることでよりスポーツの良さを知ることができて、素敵な思い出になりました。

9組 山田 海成

僕が参加した競技はドッジボールとソフトボールでした。ドッジボールでは、クラスの仲間たちと一回戦を圧勝で勝ち進み、二回戦は最後まで頑張り、同点で持ち込みました。最後のじゃんけんで負けて決勝に進めなかったのはすごく悔しかったです。3位決定戦で2組の人たちに負けてしまいましたが、クラスみんなで4位になったことは、すごく嬉しかったです。また、ソフトボールも楽しかったです。一回戦だけでしたが、みんなで守り、みんなで攻めたことがすごく楽しかったです。スポーツ大会を通して、クラスの一体感ができたような感じで、さらにクラスが楽しくなりました。

10組 遠藤 愛佳

10組の女子は7人と少ないので、私は全部の種目に出ました。結果はどの種目も負けてしまいましたが、7人しかいないのですぐに団結することができました。女子は全員が出場するため、応援する人がいなかったのが寂しかったのですが、男子が、自分たちが競技に参加していないときには、精いっぱい応援してくれたので元気が出ました。競技では負けてしまいましたが、勝ち負けにこだわらず楽しくやることのできるクラスなので、とても楽しくスポーツ大会を行うことができました。悔いの残らない大会となりました。



学年だより 高2

研修旅行

生徒たちが楽しみにしていた研修旅行も無事に終わりました。それぞれのコースならではの良さ、楽しさを生徒たちは実感することができたようです。現地学んだこと、楽しかった思い出を大切にしたいと思います。



カナダホームステイコース

3組 塩見 彩莉

カナダの大自然の中で行ったサイクリングでは、日本とは違う景色や風を感じることができ、時間を忘れて楽しむことができた。ホストファミリーはすごく優しく、いろいろなところへ連れて行ってくれた。会話が通じない時もあったが、ホームステイを通じて、会話することに自信がついた。

カナダ研修コース

6組 堀江 新

カナダ研修コースでは一人ひとりが自覚を持って行動しました。そのため予定されていなかったところにも行くことができ、美しい街並みを見ることができました。各班が協力していたおかげで、たくさんの体験をしているいろいろなことを学べたので、とても良い研修旅行になったと思います。



ハワイコース

3組 石原 那月

1年前からずっと楽しみにしていた研修旅行も、6日間があっという間に過ぎてしまった。日本とハワイのつながりや自然を目の当たりにし、ハワイの魅力をたくさん感じることができた。たくさんの友達との仲も深まり、一生忘れない大切な思い出になった。

サンフランシスコサイエンスコース

10組 千葉 俊

文化や言語、考えの違いを感じることができた5日間でした。特に印象に残ったのは、エンジニアの方々からの講義を受けた際に、最先端の思考を学んだことです。「デザイン思考」と呼ばれる、他者と共感して行うワークスタイルは、これからの日本に必要な不可欠だと感じました。



北海道コース

5組 三浦 桃香

北海道は、自然が美しくきれいな場所で、圧倒されるような気持ちになりました。ご飯は美味しく、人は皆優しく、とても温かい所だと感じました。自然と歴史的なものに溢れた北海道は、本当に魅力的で良い所だったので、また訪れたいと思いました。

沖縄コース

4組 中山 千夏

今回、研修旅行で沖縄を訪問し、沖縄戦で多くの犠牲者を出した悲惨な歴史を実際に見て、各々で平和について考えることができたと思います。また、海でダイビングをしたり、沖縄ならではの料理を食べたり、充実した時間を皆で過ごして楽しい研修旅行になりました。



学年だより 高3

梅雨の最中の6月24日(月)、3年生のスポーツ大会がアリーナで行われました。各クラス共に、最高のチームにするために練りに練ってメンバーを決め、日頃の団結力を発揮しようと意気込んで当日を迎えました。勝利の女神はどここのクラスに微笑んだのでしょうか。それでは、各クラスからの報告をお楽しみください。



バレーボールとは 1組 津吹 日菜
私たち1組は男女共にバレーボールで優勝することができました。そこで、バレーの歴史について紹介します。アメリカのウィリアム・G・モーガン氏が考案し、ネット越しにボールを打ち合うのでミントネットという名称でYMCA体育指導者会議において公開された球技です。1913年に日本に紹介され、日本国内で独自のルールが作られ、次第に普及していきました。次のスポーツ大会が最後になるので、絶対に優勝したいです。

優勝を目指して 2組 綿谷 恵達
初夏の暖かい日差しを感じられるようになった6月下旬のアリーナでのスポーツ大会。私はバスケットボールの試合に出場し、クラスの仲間と力を合わせて決勝まで勝ち進みましたが、負けてしまいました。この悔しさをばねに、後期のグラウンドでのスポーツ大会は優勝を目指します。

スポーツ大会 3組 石井 映奈・広瀬 晴子
3組は女子バスケで優勝することができました。試合に出ている人も出なかった人も、全員が一丸となり、クラス全員で戦い抜いた結果だと思いました。また、体育館でのスポーツ大会が最後だったため、一人ひとりが勝利に向かって頑張っていました。

スポーツの目的 4組 森重 開斗
僕はバレーボールに参加しました。前はなかなか良いところまでいったので、今回も頑張ろうと思いました。しかし、結果は良くありませんでした。悔しかったですが、皆、精いっぱいプレーしていました。それに、僕は皆と一緒に戦えて楽しかったし、とても嬉しかったです。次回は最後のスポーツ大会。クラス一丸となって「遊び」にいけます!

総合優勝 5組 小貴 満里奈
今回のスポーツ大会では、総合優勝を勝ち取ることができました。綱引きはもちろん、バレーやバスケなどで協力し合えたから、得られた結果だと思います。卒業までのすべての行事において、皆で協力して良い思い出になるように頑張りたいと思います。

バスケ悲願の優勝 6組 齋藤 俊介
最後のアリーナでのスポーツ大会でした。私はバスケの種目に出場して、クラスメイトと協力して優勝することができました。その時の喜びは今でも忘れません。総合でも3位になることができよかったです。グラウンドのスポーツ大会も頑張りたいと思います。

感謝 7組 多田 海地
私は今回のスポーツ大会がとても良い思い出になりました。それは運営をしてくださった先生方や、準備や片付けなどに対して協力してくれた生徒のおかげだと思います。残りの行事も感謝の気持ちを忘れず、最高の思い出にしたいです。

アリーナ最後のスポーツ大会 8組 鈴木 佳蓮
今回のスポーツ大会は、アリーナで行う最後の機会、皆、気合を入れて頑張っていたのですが、結果はあまり納得のいくものではなかったです。頑張っていたからこそ悔しかったのだと思います。次回のグラウンドのスポーツ大会では種目も変わるので、どの種目も満足できるような結果で終わりたいと思います。

チームプレー 9組 関根 アクセル 摩周
スポーツ大会で行われるすべての競技には共通点があります。それは、一人の力だけでは勝てないということです。もちろん卓球も例外ではありません。チームやペアと一緒に協力して、9組男子卓球優勝という結果に終わることができてよかったです。

スポーツ大会 10組 遠藤 吟弥
3年生にとってアリーナで行われるスポーツ大会は今回が最後でした。1勝を目標に頑張りましたが、バレーもバスケも一回戦敗退…。最後の綱引きにすべてをかけて挑みました。宮嶋先生のアドバイスもあって勝つことができました。4位になって良い思い出になりました。



高輪カップ(卓球)・高輪ウィンドフェスティバル(吹奏楽) 開催

男子 卓球の部

優勝	江東区立深川第七中学校
準優勝	戸田市立新曽中学校
3位	世田谷区立駒留中学校

参加校 16校

大田区立志茂田中学校 大田区立御園中学校 江東区立深川第七中学校 世田谷区立駒留中学校 世田谷区立千歳中学校 世田谷区立駒沢中学校	中野区立南中野中学校 練馬区立貫井中学校 目黒区立目黒中央中学校 荒川区立原中学校 葛飾区立双葉中学校 市川市立南行徳中学校	戸田市立新曽中学校 横浜市立寺尾中学校 東海大学付属浦安高等学校中等部 東海大学付属高輪台高等学校中等部
--	---	---

女子 卓球の部

優勝	荒川区立原中学校
準優勝	世田谷区立駒沢中学校
3位	中野区立南中野中学校

参加校 6校

大田区立志茂田中学校 中野区立南中野中学校 世田谷区立駒沢中学校	江東区立深川第七中学校 荒川区立原中学校 葛飾区立双葉中学校
--	--------------------------------------

顧問 細田 功



男子優勝 江東区立深川第七中学校



女子優勝 荒川区立原中学校



高輪台中等部



熱戦の様子

第14回高輪カップが7月15日(月)、本校アリーナにおいて行われました。本校卓球部員の母校を中心に、男子16校、女子6校が集まり熱戦が繰り広げられました。試合は、男子は4チームによる予選リーグを行い、午後からは各ブロックの1・2位校、3・4位校によるトーナメント形式の試合が行われました。女子は6チームによるリーグ戦が行われました。男子決勝戦は、江東区立深川第七中学校が戸田市立新曽中学校を3対1で下し三度目の優勝を果たしました。女子のリーグ戦では荒川区立原中学校が5戦全勝で初優勝を果たしました。

本校中等部男子は、予選リーグ0勝4敗でリーグ4位でしたが、3・4位トーナメント1回戦で荒川区立原中学校に3対2で勝利、2回戦中野区立南中野中学校に1対3で敗れましたが、3位決定戦で横浜市立寺尾中学校に3対2で勝利し3位となりました。1年生が新たに3名加わり、技術面やチーム力で昨年以上に大きく成長した姿を見ることができました。今大会が、各校顧問の先生方ならびに多くの方々のご協力により、無事終了できたことを心より感謝申し上げます。

吹奏楽の部

参加校 43校

【午前の部 24校】

横須賀市立坂本中学校 町田市立木曽中学校 藤沢市立湘洋中学校 江東区立第二大島中学校 品川区立戸越台中学校 川崎市立高津中学校 川崎市立田島中学校	習志野市立第七中学校 横浜市立すすき野中学校 横浜市立南希望が丘中学校 立川市立立川第八中学校 横浜市立保土ヶ谷中学校 川崎市立橋中学校 川崎市立東橋中学校 川崎市立宮崎中学校 八王子市立柳田中学校 横浜市立領家中学校 横浜市立荏田南中学校	横浜市立希望が丘中学校 横浜市立田奈中学校 横浜市立川西中学校 横浜市立西本郷中学校 横浜市立中田中学校 習志野市立第五中学校
---	--	--

【午後の部 19校】

東海大学付属高輪台高等学校中等部 新宿区立牛込第三中学校 江東区立砂町中学校	さいたま市立大久保中学校 足立区立第九中学校 大田区立雪谷中学校 葛飾区立水元中学校 品川区立日野学園 世田谷区立砧南中学校 船橋市立高根中学校 新宿区立新宿西戸山中学校 市川市立第八中学校 市川市立第三中学校 横浜市立上の宮中学校	市川市立妙典中学校 習志野市立第二中学校 大田区立雪谷中学校 川崎市立野川中学校 中央区立銀座中学校
--	--	--

顧問 島田 貴生



第11回高輪ウィンドフェスティバルが6月30日(日)に開催されました。参加校は総勢43校で、本年も数多くの学校からお申し込みをいただきました。当日は朝から本校アリーナにて素晴らしい熱演の連続で、中学校全体のレベルが年々向上しているのを強く感じました。演奏者だけでも1,800人以上の中学生、そして数多くの保護者の皆様にご来校いただき、アリーナはほぼ満員となりました。

3人の講評員の先生方から貴重なアドバイスをいただき、夏の吹奏楽コンクールへ向けてさらなる努力を積み重ねていってくださることでしよう。

フェスティバルの最後には本校吹奏楽部の演奏を聴いていただきました。高校生の演奏に目を輝かせて聴いてくださる中学生の姿が大変印象的で、会場の中学生、保護者の皆様からの大きな拍手をいただき、本会は無事終演を迎えました。

中学校の先生方からは「来年も楽しみにしています」との嬉しいお言葉を多くいただきました。また誘導や運搬のスタッフとして尽力する本校の生徒に対しては、中学校の先生方や保護者の皆様からもたくさんのお褒めのお言葉をいただき、本当に誇らしく感じております。

今回も高輪ウィンドフェスティバル開催のために本当に多くの方々にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

部・同好会活動報告

ダンス部

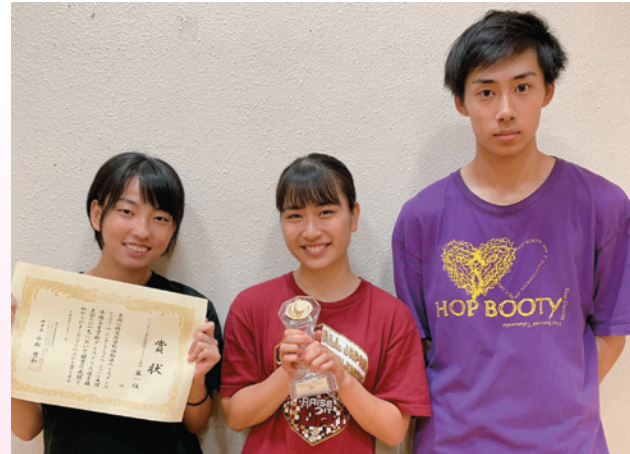
全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019 HIPHOP男女混成部門medium編成 優勝!!

高校最後の大会

8月に行われた「全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019」で、3年生はずっと目標にしていた優勝という結果を残すことができました。結果発表の瞬間、たくさんの方々の顔が頭の中をよぎりました。先生方、コーチ、後輩、そして保護者など多くの方々に支えられてここまで来ることができました。感謝しています。お忙しい中、大阪まで応援に来てくださった方々もいて本当に嬉しかったです。最後の大会が終わり、今後は学校生活や部活動に対する姿勢で、ここまで支えてくださった方々に恩返しをしていきたいと思ひます。

最後に、このダンスドリル選手権大会での優勝は、ダンス部史上二度目のものとなります。また来年、再来年以降も三度目、四度目と続いていけるよう、ダンス部一同全力を尽くしていきます。また、この後は建学祭、卒業公演とイベントが続きますので、皆様、ぜひ見に来て下さい！これからもダンス部への応援をよろしくお祈いします。

部長 3年4組 皆川 真瑠香



左から 副部長 千賀さん、部長 皆川さん、副部長 駒田君

軽音楽部

高校生ライブ MUSIC DAYS 2019 東京大会（決勝） 優秀賞受賞！ FINAL大会に出場決定！

バトン

3年1組 豊崎 なな花



左上：藤田さん(Drums) 左下：小松さん(Vocal/Bass) 右：豊崎さん(Guitar/Chorus) 【バンド名：BLAZE】

私たちは先日、「MUSIC DAYS 2019 東京大会」に出演させていただきました。予選は動画審査だったため、約1,500人いるステージに立った時とても緊張をしました。しかし、ステージから部員みんなの姿がしっかりと見えて、安心して日頃の成果を発揮することができたと思ひます。結果は優秀賞をいただくことができ、11月に行われるFINAL大会に出場することが決まりました。また、来年度大会のシード権を獲得することができたので、後輩へ良い形でバトンをつなぐことができました。この結果はOB・OGの方々、顧問の先生、放課後や休日に教室を貸して下さっている先生方、生徒の皆さんの協力があったりいただけたものだと思います。本当にありがとうございました。また、10月にある建学祭は、私たち3年生が集大成を見せられる校内最後の場です。日頃の感謝を嬉しさを以て恩返しできるような演奏をするので、アリーナへ足を運んでいただけると嬉しいですよ！

SSH活動報告

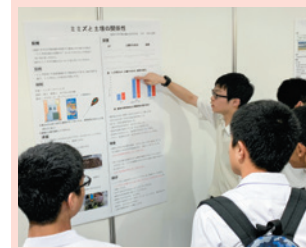
探究活動・課題研究の成果を英語で発表(7月9日～10日／新潟県新発田市)



3年2組 柴田 愛海

今回、普通クラスの代表として初めてSSH活動に参加しました。初めてのことでとても大変で、英語で伝える難しさなど、自分に足りないものが嫌というほど目に見えるものでした。伝えたいことが相手に伝えられないむず痒さや悔しさは、今後の成長においてとても大きなバネになると思ひています。マレーシアから来た学生さんとも写真を撮り合ったり、お互いの学校のことを話したりと、十分に交流することができました。基礎的な発音であったり、パワーポイントの作成の仕方などを1から教えてくださったネイティブの先生方、諸事情の際も迅速に対応して下さった担任の先生方に、感謝の意を込めながら素晴らしい体験をすることができたことを嬉しく思ひます。機会があるのであれば、もっと英語力をつけたくてまた参加したいと思ひます。ご飯も美味しく、人も優しく、歴史ある新発田の街を新発見することもできた、とても充実した1泊2日でした。

海外校との共同研究についてプレゼンテーションを披露(7月13日／名古屋市)



3年10組 木田 遼世

私は今回、自分のSSH活動で初となる校外での発表をしてきました。場所は名城大学天白キャンパスです。そこでは東海フェスタという、東海地区を中心としたSSH指定校の生徒たちによる研究の成果などの発表会が行われました。自分はこのイベントで、今までやってきた発表会とは違う意見を聞くことができました。たとえば、今までは1つの材料を使うのではなくさまざまな材料を使った方がよいという意見が多かったのに対して、1つの材料に執着した方がその材料についてのデータがたくさん取れるから、結果がより正確になるという意見を聞くことができました。確かにこの意見の方が研究をする上ではよいかもしれないと思ひながら、住んでいる地方によってはまったく考え方が違うのだと実感しました。私は外国との共同研究もしているため、この経験を生かしながら研究を進めていきたいと思ひます。

科学技術の発展と地域貢献に関するシンポジウムに出席(7月14日／新潟市)



3年8組 田島 寧々

私たちは新潟ユニゾンプラザで行われた江風グローバルシンポジウムに参加してきました。会場にはSSHに指定されている学校の生徒や先生、大学の教授・研究者などさまざまな人たちがいて、普段では学べないことがたくさん学べました。私が参加したパネルディスカッションでは、当日に出されたお題について討論をしました。あらかじめ文章を用意して読むのではなく、そのとき思ったことをすぐに言わなくてはならないので、常に頭の中で話を整理するのがとても大変でした。他校の生徒の「将来の夢」を聞いていると、ただ「○○になりたい」ではなく、「今××のような研究をしているから□□に貢献できるような○○になりたい」と、日本の未来を考えている人が多く、感銘を受けました。私も今、探究活動IIでAIが発達する未来を調べているので、調べて発表して終わりではなく、その先まで考えていきたいと思ひました。

国内外の高校生と意見を交わすフォーラム・カンファレンスに参加(7月20日～21日／福井県大飯郡おおい町ほか)



3年10組 澤田 強希

今回、2つの発表会において口頭発表とポスター発表をさせていただきました。これらを通じて、改めて「第三者による知見」が大事だと痛感させられました。というのも、主催校の先生方から研究に対する考え方が変わるようなことや助言を多くいただいたからです。無論、本校の先生方もいろいろ丁寧に教えてくださいますが、どうしても同じ立ち位置で研究を行っている、良くも悪くもある程度の方向性が定まっています。その中で、その方向とは異なる意見をいただけることは非常に良い機会であり、研究以外にも応用ができると考えています。また、さまざまな国や地域の人が集まる中で、各々が英語、日本語を話している、同じ言語であっても違いが際立ったり地域ごとの特徴があり、そのような交流を経験できたことも嬉しく思ひます。最後になりますが、今回の発表会参加に際してご協力くださった方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

SSH活動速報

- | | | |
|---------|-------------------|--|
| 7月 1日 | 公共科学演習 | 理科班による台風とハリケーンに関するプレゼンテーションの実施 |
| 7月 1日 | 課題実験 | 基礎実験(放射線データのまとめ)の実施 |
| 7月 5日 | アカデミックプレゼンテーションII | Debate 3 |
| 7月 5日 | 公共科学演習 | 理科教員による台風とハリケーンに関するワークショップの実施 |
| 7月 6日～ | サイエンス基礎 | 国語表現演習「名づけに関するミニ課題研究」の実施(全5回) |
| 7月 8日～ | 課題実験 | 個別実験の開始(全16回) |
| 7月 12日 | アカデミックプレゼンテーションII | Debate 4 |
| 7月 12日 | 公共科学演習 | 地理歴史、公民班による技術発展と争いに関するプレゼンテーションの実施 |
| 7月 16日～ | 企業連携 | コスモエネルギー開発(株)他7か所の訪問(全8日間) |
| 7月 17日 | 公共科学演習 | 地理歴史、公民科教員による技術発展と争いに関するワークショップの実施 |
| 7月 22日～ | 科学体験学習旅行 | 核融合科学研究所(岐阜県土岐市)他4か所の訪問(全3日間) |
| 8月 5日～ | 課題実験 | 海洋調査研修船「望星丸」での採集・観測実習の実施(環境分野選択者のみ:全3日間) |
| 8月 29日～ | サイエンス基礎 | 科学体験学習旅行の成果に関するプレゼンテーションの実施(全2回) |

お知らせ

2019年度 第18回高校体育祭

●日時: **9月27日(金)**

※雨天時は授業日 / 予備日: 10月4日(金)・17日(木)

●場所: **本校さいたま総合グラウンド**

埼玉県さいたま市浦和区大原5丁目4番



行事予定

September 9月

October 10月

- 2日(月) 朝礼 短縮授業 / 避難訓練
- 3日(火) 校医相談日⑤ 安全衛生委員会⑤
- 7日(土) 後援会委員総会②
- 10日(火) 生徒自宅学習日
- 11日(水) 専門医によるカウンセリング③
- 12日(木) 生徒による授業評価アンケート②
生徒による学校評価アンケート①
- 16日(月) **敬老の日**
- 17日(火) **前期期末試験(中等部:~19日、高校:~20日)**
- 20日(金) 写生大会(中等部)
- 21日(土) 生徒自宅学習日
- 22日(日) **東海大学オープンキャンパス(高2:湘南校舎)**
- 23日(月) **秋分の日**
- 24日(火) 答案返却
- 25日(水) 生徒自宅学習日(~26日)
- 27日(金) **第18回高校体育祭**
(さいたま総合グラウンド、雨天時は授業日)
授業日(特別時程:中等部)
短縮授業 保護者会②
保護者による学校評価アンケート
- 28日(土) 短縮授業 保護者会②
保護者による学校評価アンケート

- 1日(火) 後期始業式 短縮授業
校医相談日⑥ 学校保健委員会② 安全衛生委員会⑥
- 2日(水) 塾教員対象学校説明見学会(高校)
- 3日(木) 学年集会②(高1) 4時限授業(5-6時限カット)
- 4日(金) 第18回高校体育祭予備日(雨天時は授業日)
- 6日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会③(高校)
- 8日(火) **スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド)**
- 9日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 10日(木) 建学祭準備(~11日)
- 12日(土) **第55回建学祭(~13日)**
- 15日(火) 振替休日
- 16日(水) 建学祭閉祭式 短縮4時限授業(5-6時限カット)
- 17日(木) 第18回高校体育祭予備日(雨天時は授業日)
- 18日(金) 漢検② 1次試験(希望者) 教育実習(~11月13日)
- 19日(土) 水泳実習②(中等部)
- 20日(日) 東京私立中学・高等学校池袋進学相談会(池袋サンシャインシティ)
- 22日(火) **即位礼正殿の儀**
- 24日(木) 生徒会立会演説会(1時限 中等部:アリーナ、高校:放送)
- 26日(土) 特別時程 SSH成果報告会
- 27日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(中等部)
- 29日(火) **スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド 予備日)**

剛健旅行 ~いつもありがとうございます!~



編集後記

長いと思っていた夏休みもあっという間に過ぎ去ってしまいました。今年も厳しい暑さが続いていましたが、徐々に秋の気配が感じられるようになってきた。また、元気に鳴いていたセミたちの声もいつの間にか聞こえなくなってきた。諸行無常を痛感する。夏休み前は、「あれもやろう、これもやろう」と意気込んでいたものの、終わってみると何一つ十分なことができなかった。「最初からもう一度やり直すことができたらなあ」、こんな思いを抱くのは私だけなのでしょうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>